

■ 埼玉県議会議員【草加市選出】

がもつ徳明

県議会ニュース

2025. 新年号

草加市新里町 1422 番地
☎ 048-929-2366県政に関するご意見
ご要望をお寄せください。
TEL048-822-9606
FAX048-822-9408公明党埼玉県議団ホームページ
www.komei-saitama.com

GAMOU NORIAKI REPORT SAITAMA SOKA

南 1 区草加市
県議会議員

蒲生 徳明

新しい年を迎えました。初心に還り、「大衆の為に」 との公明党の原点を忘れずに、埼玉県、 そして地元草加市の発展のために尽力してまいります!

県民の皆様、そして草加市民の皆様こんにちは。

日頃より、蒲生徳明の県政活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新しい年を迎え、今一度初心に返り、どこまでも県民・草加市民の現場の声を大切に、皆様のご要望の実現のために全力を尽くしてまいります。尚一層のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

【最近の主な活動から】 (前号掲載以降の活動)

①知事への要望

◆県民の思いにお応えするために知事要望を。(公明党県議団)
※県民要望の最も高い物価高騰対策をはじめ、生活現場から寄せられた県民の切実な声をお聞きして、オンタイムで知事要望を行いました。
(詳細は公明党埼玉県議団ホームページをご覧ください)

2024 年 10 月 16 日

◆大野知事に「令和 7 年度県予算編成に対する要望書」を提出
埼玉県議会 9 月定例会が閉会日を迎え、公明党議員団として「令和 7 年度予算編成に対する要望・施策」と、各地域要望（私からは草加市要望をさせて頂いております）を大野知事に提出。現場の声を県政に反映さるべく、福祉や防災・減災対策をはじめとした全 354 項目の構成となりました。皆さまの声をカタチにするべく、引き続き全力で取り組んでまいります。



12 月 16 日

◆「物価高騰への対策」及び「闇バイト犯罪の抑止」への知事要望

埼玉県議会公明党議員団として大野知事に対し、『物価高騰への対策に関する要望』を行いました。「物価高騰対策」では、政府の重点支援地方交付金を効果的に活用し、物価高から県民の生活を守り、経済の確実な回復を実現するための施策を要望。「闇バイト犯罪の抑止」については、対策の強化や防犯対策の充実を求めました。



※ 12 月 17 日付けの埼玉新聞に報じられました



2024 年 9 月 30 日

◆埼玉県の進める企業の社会貢献運動を進めた「タイガーマスク運動」の創始者である河村正剛氏、埼玉第一興商高橋氏と共に大野知事を訪問。(下記 公明新聞掲載記事)

※児童養護施設の退所時支援を要望／埼玉県知事に社会活動家(11/13 掲載)

児童養護施設の支援活動「タイガーマスク運動」を群馬県を中心に展開する社会活動家の河村正剛さんはこのほど、埼玉県庁で大野元裕知事を表敬し、児童養護施設退所後の自立支援を要望した。公明党の蒲生徳明県議が同席した。

河村さんは、施設を退所する際に生活費や就職にかかる費用など、経済的負担が一度に重くのしかかることに触れ、「自治体でのサポートが重要だ」と主張。自立時の補助金事業など、他自治体の試みを紹介し、現場に寄り添ったさらなる支援メニューの拡充を求めた。大野知事は活動に謝意を伝え、県として「引き続き児童養護施設を手厚く支援していく」と語った。

このほか、河村さんは、県内 6 カ所の施設にカラオケ機器を寄贈したことも報告。「両親のいない子どもたちへの支援を他県でもさらに広げていきたい」と決意を示した。

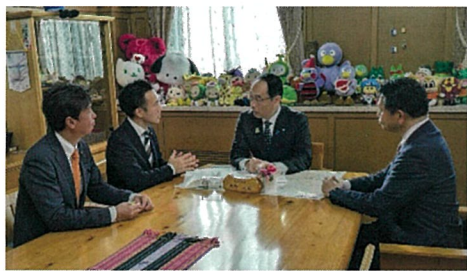
⇒(株)埼玉第一興商の埼玉県での社会貢献については埼玉県のホームページで掲載。

～ワンチームで埼玉版SDGsを推進!～

SAITAMA
社会貢献プロジェクト

12月23日

国政と連携した知事要望で意見交換：矢倉かつお参議院議員と同行。(知事室)



②議会活動

◇令和6年9月定例議会報告(9月25日から10月16日)

<定例会をふりかえって～県議団団長 蒲生徳明>

(県議会広報ホームページ掲載)

今定例会では、わが会派から一般質問に権守幸男議員と小早川一博議員が登壇しました。

権守議員は能登半島地震を踏まえた本県の地震防災対策等について質問し、失語症の意思疎通支援を進めるために支援センターとしての役割を果たすべきと質しました。また、小早川議員は子ども若者の参画に向けた県の取り組みや、難聴を理解し支えあう社会の在り方等について質問し、それぞれが前向きな答弁を得ました。

また、今議会では、衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査の管理執行に要する経費について、そして、団として議会質問等で県に求めてきた県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実等についての2本の補正予算をはじめ、条例その他について審議されました。わが会派は、団内議論、委員会での質疑等を行ったうえで、全議案に賛成しました。会派として議会最終日には、物価高対策をはじめ、354項目の来年度県予算に対する要望書を知事に提出しました。

◇令和6年12月定例議会報告(12月2日から12月20日)

<定例会をふりかえって～県議団団長 蒲生徳明>

(県議会広報ホームページ掲載)

今定例会では、わが会派から一般質問に塩野議員と戸野部議員が登壇しました。

塩野議員は、順天堂大学附属病院整備計画の中止問題、物価高対策、価格転嫁の実現に向けた支援策などについて、また、戸野部議員は、小さく生まれた赤ちゃんと家族への支援策、痴漢撲滅対策、闇バイト対策、医療的ケア児者の災害対策支援などについて質問しました。

知事をはじめ執行部からおおむね前向きな答弁を得ています。また、職員給与の改定などに伴い、不足が見込まれる給与費を計上する議案、防災拠点校の体育館における避難者の生活環境の改善を求めるための補正予算、水道用水供給事業の健全な経営を図るため水道用水料金の額を改定する議案などが審議されました。

団として、団内の意見、国会議員との連携の上で、インボイス制度の廃止等を求める意見書には反対しましたが、その他の議案には賛成をしました。

また、団として、国の重点支援交付金を活用した物価高騰対策、闇バイト犯罪の抑止に関する緊急要望を知事に行いました。

③県議会議員としての活動、会合等への参加など(前回号後)

◆県内諸団体との意見交換会

9月17日、18日、19日の三日間、公明党埼玉県議団主催の意見交換会を開催しました。国会議員(石井啓一幹事長、西田実仁県代表(参院会長)、輿水恵一衆院議員、矢倉克夫・宮崎勝両参院議員)も同席し、3日間で66の各種団体が参加。2グループに分かれ要望をお聞きしました。



◆その他の日常活動

「草加市商店連合事業協同組合設立二十周年記念式典、祝賀会」(アコスホール)



9月4日

「埼玉県議会産業労働企業委員会視察」



9月7日

「神明宮大祭」に参加。(4.5.6丁目町会主催)



9月8日

「草加市民ソフトボール大会開会式」で挨拶。(草加公園駐車場)



9月9日

草加市内の事業者の方と意見交換。



9月16日

アコス商店街主催「DISCO Soka City Premium Night Vol 5」に参加。



9月22日

「草加市障がい者福祉協会ミニコンサート」に参加。(中央公民館)



9月28日

「草加市金明町防災訓練」に参加。



10月1日
「赤い羽根街頭募金」
運動に参加。



10月2日
「大野もとひろ日本一暮らしや
すい埼玉をつくる会」に参加
(パレスホテル大宮)



10月5日
「中央公民館祭り」に参加。



11月2日
「草加ふささら祭り」に参加。
(まつばら綾瀬川公園)



11月3日
「草加商工会議所祭り」
に参加。
(まつばら綾瀬川公園)



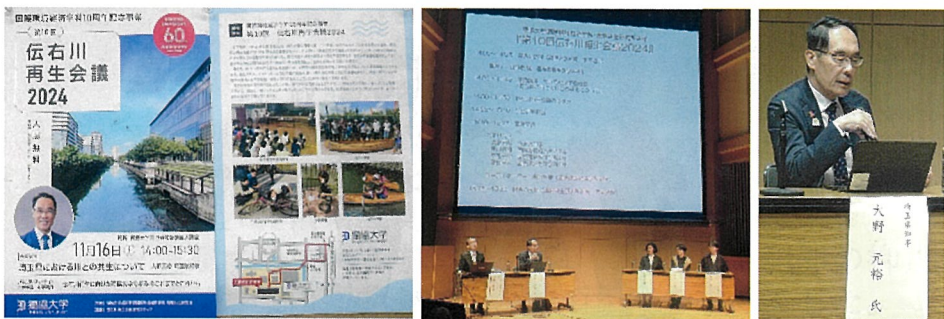
11月9日
「新里文化センター祭り」に参
加。



11月10日
「草加市消防団特別点検」に参加、挨拶。



11月16日
大野知事記念講演「第10回伝右川再生会議」に参加。
(獨協大学)



11月18日
「民団との意見交換」(教育面での県の支援について：県庁)

11月29日
「埼玉県議会東部地域防犯
キャンペーン」に参加。
(イオンレイクタウン)



12月4日
「本庄市長、市議会議員」の要
望を受けました。(県議会控室)



12月7日
「であいの森まつり」
(草加市総合福祉センター
であいの森)



12月14日
子供の居場所づくりを進め
る「こども応援ネットワーク
Pine」の展示を鑑賞。(マルイ)



「草加市農業祭」に参加。
(草加市文化会館)



12月22日
「とびだせ！絵本+あそびばた
けin草加」を鑑賞。(草加市
立図書館)



「ぱりっせーる」へ出かけました。



⑤先進例を学び、県政へ反映

11月19日

「産業労働委員会視察」(宮城県・山形県)



⑥公明新聞に掲載された県議団の活動記事

広がるサーキュラーエコノミー補助金で企業に好事例
2024/9/14

経済活動と環境負荷の軽減を両立させるため、埼玉県は資源の有効活用や廃棄量の抑制を図るサーキュラーエコノミー(循環経済)を推進している

昨年6月には、さいたま市中央区の県産業振興公社内にワンストップ支援拠点「サーキュラーエコノミー推進センター埼玉」を開設。中小企業診断士などのコーディネーターが企業の製品開発や事業に関してアドバイスするとともに、国や県の各種補助金を紹介する。

■公明、持続可能な社会へ推進

サーキュラーエコノミーを巡っては、公明党県議団(蒲生徳明団長)の各議員が議会質問を通して訴えてきたほか、2022年12月に大野元裕知事へ予算要望を実施するなど、一貫して訴えてきた。蒲生団長は、「県民や企業の持続可能な社会に向けた活動がさらに進むよう、より一層支援していきたい」と語っていた。



全国初、高齢ドライバー専用の免許更新施設 講習の待ち日数緩和／埼玉県 2024/9/21

埼玉県警は、自動車免許の高齢者講習や認知機能検査などをスムーズに受けることができる高齢者専用の免許更新施設「岩槻高齢者講習センター」をさいたま市に開設した。全国初の試みで、高齢ドライバーの増加により長期化している講習・検査の待ち日数の緩和を促していく。

■講習・検査、1日300人受け入れ

「岩槻高齢者講習センター」は延べ床面積約6300平方メートルの2階建てで、高齢者講習室20室や、認知機能検査室4室などを備える。受講枠は高齢者講習が1日当たり120人、認知機能検査が同180人で、合わせて1日最大300人まで受け付ける。

高齢ドライバーの支援については、公明党埼玉県議団(蒲生徳明団長)が一貫して推進してきた。2019年6月の定例会では、萩原一寿議員が他自治体の高齢ドライバー支援の事例を紹介しながら高齢者講習を多くの人が受講できる体制の構築を強く訴えていた。

蒲生団長は「高齢化が進んでいく中で、センターの開設はとても意義がある。今後も安全安心につながる環境を整えていく」と決意を語った。



⑦特別番組「埼玉県議会主要会派代表者討論会」

12月26日(木曜日)午後7時00分～8時00分「埼玉県議会主要会派代表者討論会」が放送されました。(地デジ3ch テレビ埼玉)

主要会派の代表者が、県民の暮らしに関わる2つのテーマについて意見を交わしました。

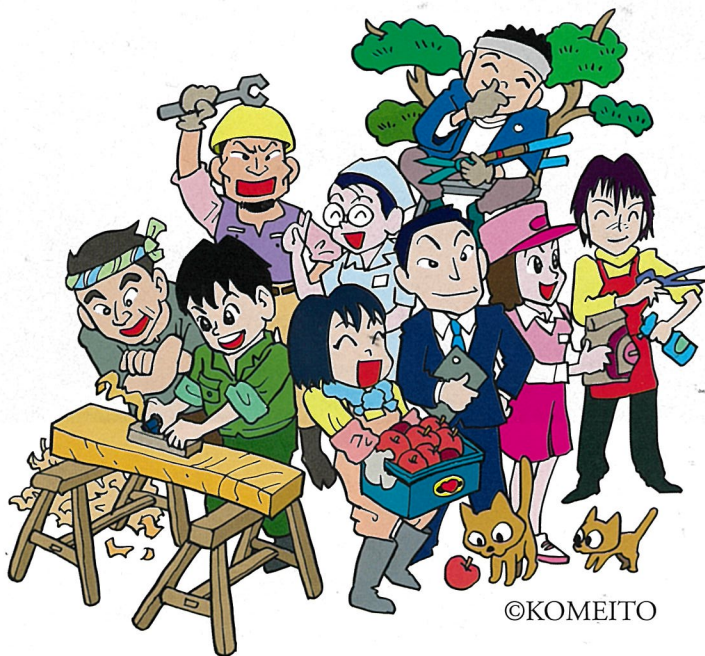
放送後、県議会公式YouTubeでも公開します。ぜひご覧ください！

<https://www.youtube.com/user/saitamakenkikai>



<討論テーマ>

- ・埼玉県経済の活性化について
- ・災害や危機管理への対応について



©KOMEITO

©KOMEITO